

図書館だより 3号

令和8年1月 発行



新しい年を迎え、どのような冬休みを過ごしましたか？まだまだ寒い日は続きますが、たくさんの本に触れ自分磨きにチャレンジしてみませんか？

今年度最後の図書館だよりになります。1号、2号に引き続き新任の先生や事務職員の方からのお薦めの本を紹介していきます。

西尾しき先生おすすめの本



【書名】世界はとつぜん変わってしまう？「あたりまえ」の毎日が、ある日とつぜんうしなわれたら？をかんがえる本

【著者名】百瀬しのぶ

【本に関するコメント】

平成 23 年3月 11 日に起こった東日本大震災は、「あたりまえ」を奪いました。被災した当時は小学生だった人の体験談や、今後どのように災害に向き合うべきかが、易しい言葉で記されています。これから自分たちに何ができるか、何をすべきかを今一度考えてみませんか？

今井敬先生おすすめの本



【書名】だまらっしゃい

【著者名】今井敬

【本に関するコメント】キャリア教室推進室前のプリント「だまらっしゃい」をとることで、1年後に200項の本になります。

①尊敬される社会人になる為にどうするか。②北条高校の良い所が主の題材です。1年間集めて本にしましょう。

兵頭佳央理先生おすすめの本

【書名】しあわせを生む小さな種

【著者名】松浦弥太郎

【本に関するコメント】勉強や部活、人間関係、忙しい高校生活の中で、心に栄養が足りてないと感じることはありますか？松浦弥太郎さんの「しあわせを生む小さな種」は、何気ない日常の中にある小さなしあわせに気づかせてくれる一冊です。しあわせはやって来るものでなく、種を大切に育てて花を咲かせるようなもの。この本からあなたのしあわせの種を見つけて、すてきな花を咲かせてみてください。

石橋奈月先生おすすめの本

【書名】ライオンのおやつ

【著者名】小川糸

【本に関するコメント】ある女の人が医師から余命宣告を受ける。最後の日々を過ごす場所として瀬戸内の海が見えるホスピス、「ライオンの家」を選んだ。そこにいる仲間たちの命の輝き、出会いの素晴らしさを描いた物語。ライオンの家ではおやつの時間が設けられていて、おやつはそこにいる人々が人生最後に食べたいおやつ。最後に食べたいおやつを通してその人たちが生きてきた道を肌で感じていく。そして自分が最後に食べたいおやつを通して、自分の生きてきた道を辿っていく。「死」がテーマのお話ですが、読み終えた後に悲しい気持ちになるのではなく、なんだかあたたかい気持ちになります。今を大切に生きたいと思える一冊です。良かったら読んでみてください。

濱田明希さんおすすめの本



【書名】日本100名城に行こう

【著者名】公益社団法人 日本城郭協会

【本に関するコメント】本のタイトルにある通り、日本にある城の中から厳選された100の城が紹介されています。この本を読んでいた当時、様々な城の特徴や城の作り方などが書かれており、歴史好きな人には、とても刺さる本だと思います。